

県立春日部高等学校(定時制)の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

課程	定時制	学科	普通科				生徒数	(男) 112	(女) 68	計 180	
ホームページ	http://www.kasukabe-h.spec.ed.jp/comm										
アクセス	東武アーバンパークライン(野田線)八木崎駅 徒歩1分 急行は止まりません										
教育課程等の特徴	<p>「わかった」「できた」を目指す教育課程です。</p> <p>(1) 中学校の復習から、一人ひとりの達成度に応じ、丁寧な指導をします。</p> <p>(2) 数学、英語は少人数指導で授業を行い、「わからない」をなくしていきます。</p> <p>(3) 総合的な学習の時間は、学年を超えて多くの講座を開講しています。英検・漢検に挑戦したり、点字や手話を覚えたり、就職試験に向けた研究をしたりします。</p>										
活躍が顕著な部活動	<p>運動部5部(陸上、サッカー、バスケット、バドミントン、卓球)とボランティア部があり、全国大会出場等を目指して練習・活動しています。</p> <p>平成29年度には、陸上部が全国大会に出場しました。</p>										
特色ある学校行事	<p>春高祭(文化祭)は全日制と合同で実施します。校内生活体験作文発表会は音楽ホールで、体育祭、球技大会、百人一首大会は体育館で実施します。</p> <p>年度末には卒業制作発表会を行い、4年生が1年かけて制作した作品を発表します。</p>										
家庭・地域との連携	<p>春高祭ではPTAがバザーを行います。また、生徒の有志が各学期に1回、通学路や校内のごみを収集する「クリーンアップ」活動を実施しています。</p>										
進路	状況	四大	2人	短大	1人	専門学校等	7人	就職	34人	その他	7人
	傾向	<p>大学進学を希望する生徒は午後からの補習を受け、一般入試などで5校に合格しました。就職を希望する生徒は、1学期末からハローワークの職員による面接指導を受けたり、本校教員の面接練習を受けたりして、就職活動に臨みました。</p>									

(* 生徒数: H30.5.1現在、進路はH30.3卒業生の実績値)

本校の魅力!

基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりが生き生きと共に学び合う学校です。

- ・安心安全な環境の中で、基本的な生活習慣、規範意識、自己管理能力を育成します。
- ・「わかる授業」を実践し、進路に応じた学力の向上を図ります。
- ・キャリア教育を実践し、進路希望の実現をします。
- ・学校・家庭・地域社会への情報発信をとおして、さらに魅力ある学校にしていきます。



授業中の話し合い



文化祭



体育祭

在校生からのメッセージ

中学生の時の自分はいろいろなことから逃げていたと思います。春日部高校定時制に入学して、授業を受けていくうちに勉強が楽しくなり、友達もできました。今までの自分の悩みがばかげていたと気づきました。

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒> 学ぶ意欲のある生徒 勉強の「やり直し」をしようとする生徒

<入学者選抜のポイント> (平成31年度入学者選抜基準より)

学力検査と調査書の記録に大きな差は設けません。学習の記録の得点は1:1:1とします。特別活動等の記録、その他の記録を積極的に評価します。面接を実施し、受検生の意欲・態度を評価します。



県立春日部高等学校(定時制)

～生徒の成長物語～

卒業生

社会の形成者として必要な資質を備えた主権者

4年間の目標

卒業時の進路未定者30%未満
 卒業後の正規雇用者の比率30%以上
 出席率90%以上
 「授業が分かる」生徒の比率80%

進路指導

進路講演会
 面接指導
 進学補習
 小論文指導

教育相談活動

スクールカウンセラーによる迅速な対応
 スクールソーシャルワーカーによる外部関係機関との連携
 校内外の特別支援教育コーディネーターによる相談
 サポステとの連携による面談
 学級担任による二者面談、三者面談

生徒指導

いじめ、暴力、周囲に迷惑をかける行為は絶対許しません
 登校時の校門指導、授業中の巡回指導、下校指導をします
 落ち着いた環境で授業をしっかり受けられます
 保護者との連携により、欠席・遅刻・早退をなくすように指導しています

4年生

卒業後の進路の実現に向け、小論文を書けるようになり、面接でしっかり受け答えができる
 部活動、学校行事ではリーダーとして下級生に役割を分担し、指導できる
 社会の一員として、地域に貢献する心構えができる

3年生

部活動、学校行事では諸課題を明らかにし、解決する体験を積む
 将来の進路について明らかにし、勉強する意義を理解する
 周囲に思いやりを持ち、組織のミッションを共有できる

2年生

アルバイトを積極的に体験し、礼儀、責任感を身に付け、お金の大切さを理解し、感謝されることの素晴らしさを知る
 将来の職業について考える
 部活動、学校行事に参画し、下級生の面倒をみる

1年生

遅刻、欠席をせず、規則正しい生活を送る授業をしっかり聴き、ノートをとる習慣を身につける
 食事をきちんととり、健康管理をする
 部活動、学校行事に参加し、協力してやりとげる体験をする

県教委の事業

「学習サポーター配置校」東京理科大学生による学習支援
 「多文化共生推進校」日本語が十分でない生徒への補習や授業中の個別指導
 「地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業」個別相談、ソーシャルスキルトレーニング、社会体験活動、アセスメント調査

特別活動

生徒会活動
 対面式、新歓、部活動紹介、生徒総会、予餞会等の企画・運営
 学校行事
 春高祭、生活体験発表会、体育祭、球技大会も、生徒が運営
 部活動
 陸上、バスケット、サッカー、卓球、バドミントン、ボランティアの各部が、夜10時半まで活動

給食による「食育」

栄養士による、「安くおいしい」栄養バランスのとれた献立
 行事食や地元産食材を生かしたメニュー
 先生や友達と語りながらの喫食で、コミュニケーション能力の向上
 食育講演会の実施